

High Strength
280 kN/m²

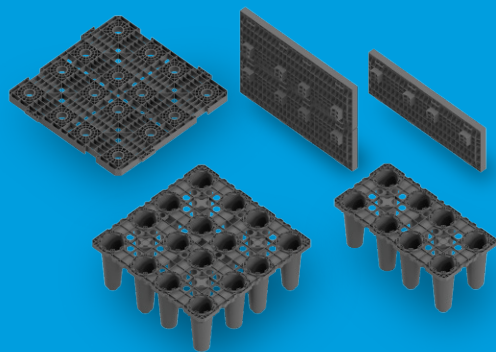
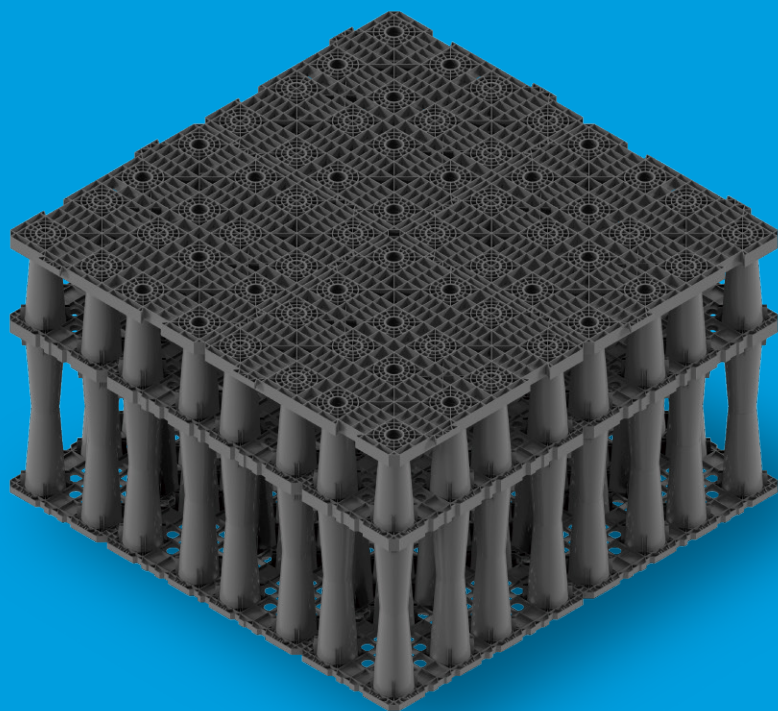
OVER
95 %
High Porosity

プラスチック製雨水貯留槽 / 浸透槽

アクアキャッチSS

AQUACATCH SS

Speed
5
parts



豪雨に備え、都市を護る

プラスチック製の雨水貯留槽はどれも同じ。そう思われていませんか？

アクアキャッチSS

センクシア独自の高強度設計により、
施工トータルの省力化をご提案します。

メリット
01

貯留槽の「前工程での施工(工事・作業)※」で
残土処理量を削減

※前工程での施工(工事・作業)：本体工事の前に貯留槽施工工事を行うこと

残土処理コストトータル約25%削減 (300㎡施工時(当社試算))

スペック① 業界最強クラス ※雨水貯留浸透技術協会の指針に準拠した性能試験で算出。他社公表値と2026年3月末時点と比較 ※業界とはプラスチック製雨水貯留槽の市場を指します

高強度 **280kN/m²**

貯留槽上部でのクレーン作業※を想定した強度を有しているため、「前工程での施工(工事・作業)」が可能

⚠️ 警告 諸条件はP4参照

メリット
02

貯留槽工事の工期短縮

必要な貯留容量を少ないスペースで実現

スペック② 業界トップクラス ※他社公表値と2026年3月末時点と比較 ※業界とはプラスチック製雨水貯留槽の市場を指します

空隙率 **95%以上**

高空隙でありながら高強度との両立を実現

優れた施工性で300㎡規模は1日施工が可能

スペック③ 業界最少クラス ※他社公表値と2026年3月末時点と比較 ※業界とはプラスチック製雨水貯留槽の市場を指します

1㎡あたり必要な部材は **5**つだけ

部材数が少なく組み立てが容易 部材1個が大きく現場条件(地面不陸)による影響を受けにくい

⚠️ 注意 諸条件はP8参照

ご使用にあたって

○このカタログは、建築設計事務所様、建築施工会社様、において、アクアキャッチを用いた建築物を設計される際および施工・監理をされる際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。本製品をご採用いただく前に必ずご一読いただきますよう、お願い致します。

○本製品を使用して設計をされる際、および施工・監理をされる際は、本カタログおよび建築基準法、関連法規、関連規準を遵守して、正しい設計施工と維持管理にお努めいただきますようお願い致します。

○製品仕様変更により、本カタログの内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項

- 本カタログに記載した注意事項が守られず発生した不具合
- 本カタログに記載した事項に反した設計、施工による不具合
- 標準仕様以外に設計者、施工者等の使用者が指示した仕様・施工方法等に起因する不具合
- 不可抗力(天災・地震・地盤沈下・火災・爆発・騒乱等)により発生した不具合
- 不具合を発見後、速やかに届け出がされなかった場合
- 開発、製造、販売時に通常予測される環境等の条件下以外における使用、保管、輸送等に起因する不具合

注意/警告の定義

- ⚠️ 注意：一般的な注意を喚起する表示
- ⚠️ 警告：取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合の表示



商業施設
駐車場の地下

雨水貯留槽 / 浸透槽

工場駐車場の地下

集合住宅駐車場の地下

倉庫駐車場の地下

他にも
こんなところで
使われています

校庭・グラウンドの地下

強さと貯水効率を両立。
だから選ばれる、
センクシアの雨水貯留槽。

スペック①

業界最強クラス

高強度
280
kN/m²

貯留槽の「前工程での施工(工事・作業)^{*1}」で残土処理量を減らし、処理コストをトータルで約25%削減^{*2}することが可能です

※1 前工程での施工(工事・作業):
本体工事の前に貯留槽施工工事を行うこと
※2 300㎡施工時(当社試算)

建築物の基礎工事に先行して雨水貯留槽を設置する場合、敷地内の作業スペースが限定されることがあります。
アクアキャッチSSはアウトリガーを張り出した50トン級のラフタークレーン(通称:ラフタークレーン)による吊り込みにも対応可能な高強度設計です。
前工程での施工(工事・作業)を可能にし、残土処理の効率化や工期短縮に寄与します。

50トン級ラフタークレーン対応
(アウトリガーを張り出して接地ができます)

貯留槽上部でのクレーン作業を想定した強度を有しています。
(鉛直方向設計許容応力280kN/㎡)

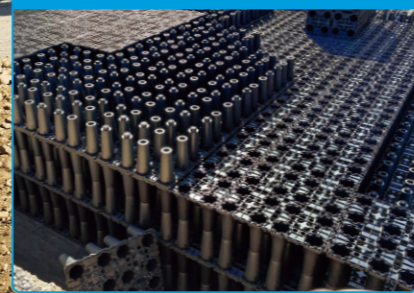
警告

クレーン作業の際は必ず以下の条件を守って作業してください。
・土被りは必ず500mm以上を確保してください。
・必ず鉄板養生をしてください。
・詳細条件はセンクシアにご相談ください(検討書を作成します)。
事前の条件確認や十分な検討がされていない場合、沈下や倒壊の恐れがあります。



高強度が
現場工程の
自由度を広げる。

クレーンの下にはこの写真のように貯留槽が埋設されています。



50トン級のラフタークレーンを用いた作業

前工程での施工(工事・作業)^{*1}のメリット

^{*1} 前工程での施工(工事・作業): 本体工事の前に貯留槽施工工事を行うこと

一般的な方法

後工程での施工(工事・作業) ^{*1} 本体工事の後に貯留槽施工工事を行うこと

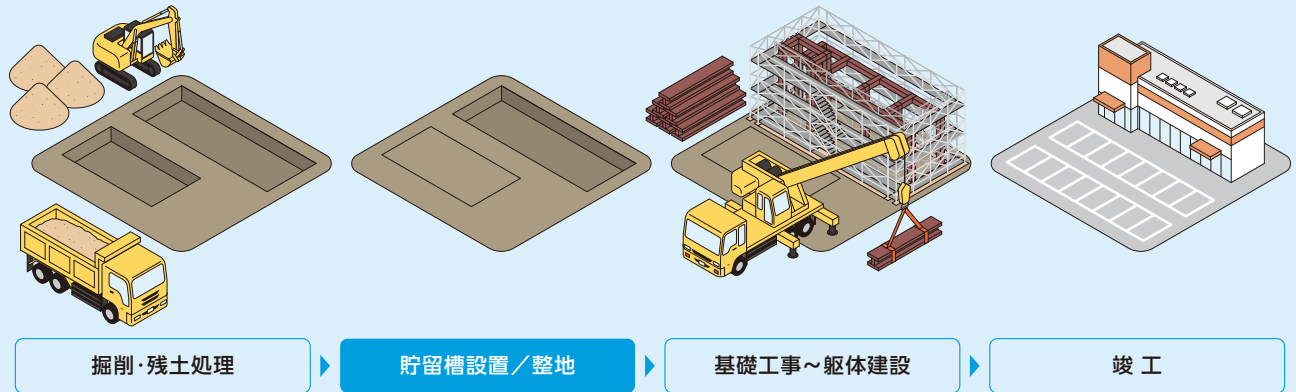
敷地に掘削土の置き場の余裕がない場合、ただちに残土処分が必要になり、追加費用が発生する場合があります。



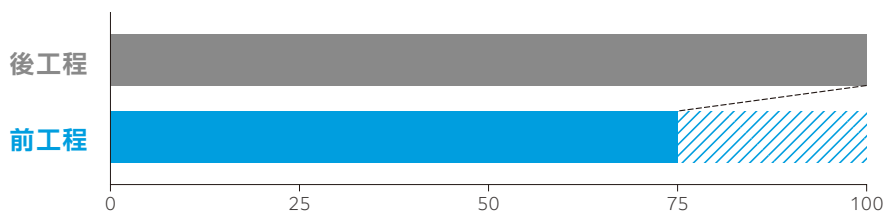
アクアキャッチSS

前工程での施工(工事・作業) ^{*1} 本体工事の前に貯留槽施工工事を行うこと

敷地内に残土置き場を確保できます。
また建物の基礎工事と同時に作業ができるので、掘削のための重機の手配が1度で済みます。



施工トータルの省力化によるメリット



300m³埋設の場合(後施工のコストを100として)

約25%
削減可能!

スペック②

業界トップクラス

空隙率
95%以上

少ないスペースで必要な貯留量を確保でき、工期短縮に貢献

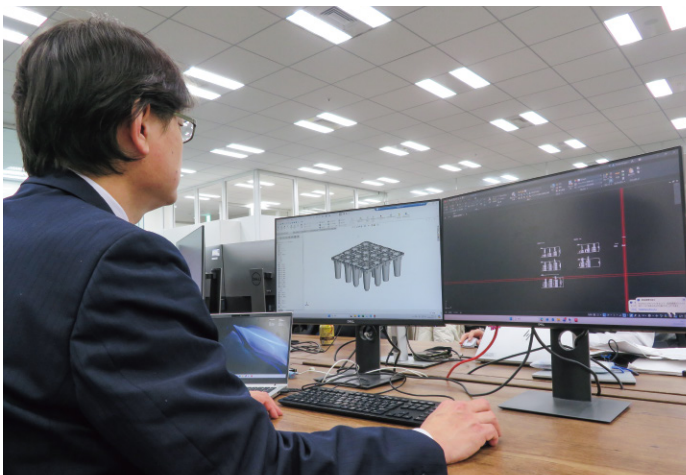
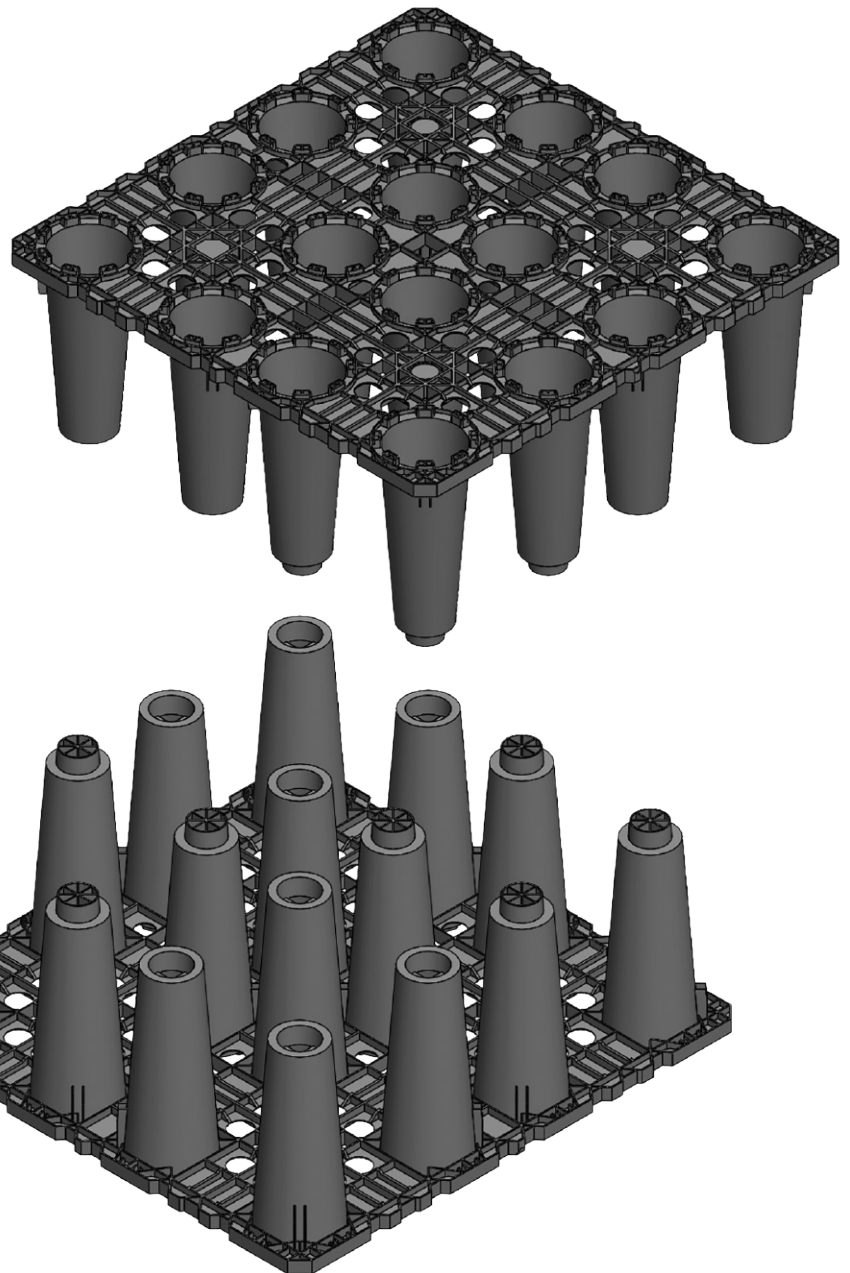
高空隙率、しかも
高強度との両立を実現

アクアキャッチSSの雨水貯留槽は、**300㎡規模、高さ約1.5mで95.7%の高空隙率**です。

敷地制約のある都市部や再開発エリアでも、設計自由度を確保しながら十分な性能を発揮します。

⚠ 注意

空隙率は、貯留槽の高さや体積などの条件によって変動する場合があります。



SENQIA's Technology

**構造部材技術の応用が
空隙率の最適化を実現**

本製品の設計には、径や肉厚の設計において、当社が長年にわたり建築用構造部材の分野で培ってきた技術を応用しています。

これにより、構造強度を確保しながらも、高い空隙率を実現。貯留容量を最大限に確保しつつ、施工性や経済性に優れた製品を実現しました。

スペック③

業界最少クラス

1㎡あたり必要な
部材は **5** つだけ

優れた施工性で
300㎡規模は1日施工が可能

1㎡あたりの施工に必要な部材数は5個。

部材数を少なくすることにより、1日最大、300㎡の組み立てが可能です。

施工日数の短縮とコスト削減を同時に実現します。

施工時間・総必要部材数

※施工時間は工事条件、環境によって異なる場合があります。

	施工時間	総必要部材数(1.5段の場合)
300㎡ 施工の場合	1日	1,494個
1000㎡ 施工の場合	2日	4,604個

部材構成

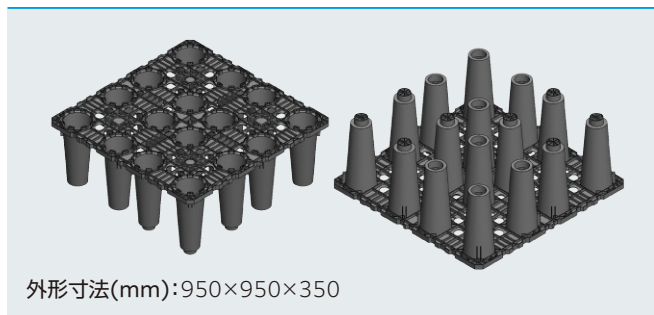
ユニット寸法	950mm×950mm×700mm	空隙率※1	95%以上
土被り(埋設深さ)	0.3m~2.3m(最大3.0m)	鉛直方向設計許容応力	280kN/㎡
比重	>1.0	部材種類	5種



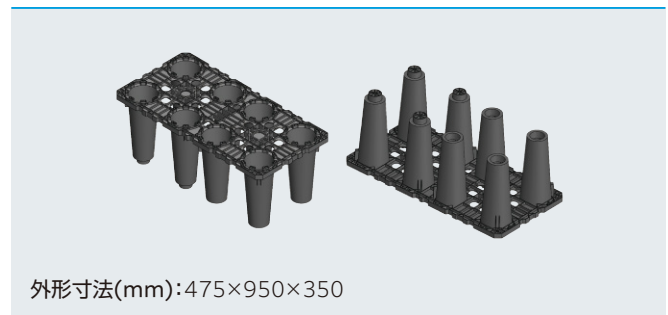
注意

※1空隙率は、貯留槽の高さや体積などの条件によって変動する場合があります。

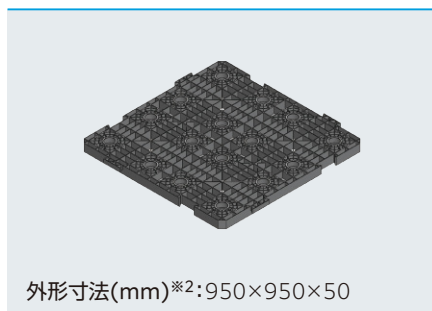
本体



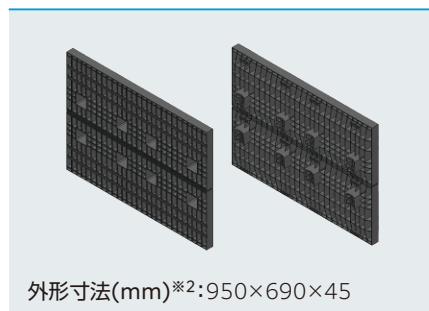
本体ハーフ



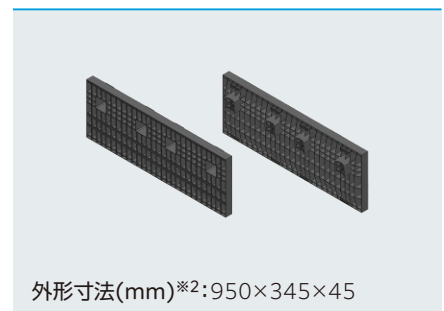
天板



側板



側板ハーフ※3

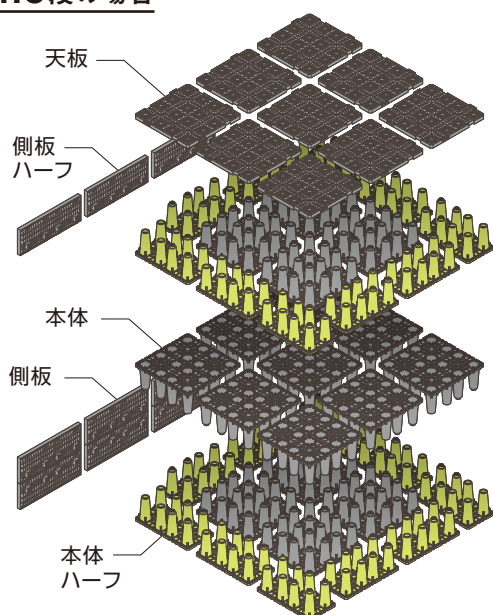


※2 天板および側板・側板ハーフは突起部を除く ※3 側板ハーフは、側板を高さ方向に2分割した部材

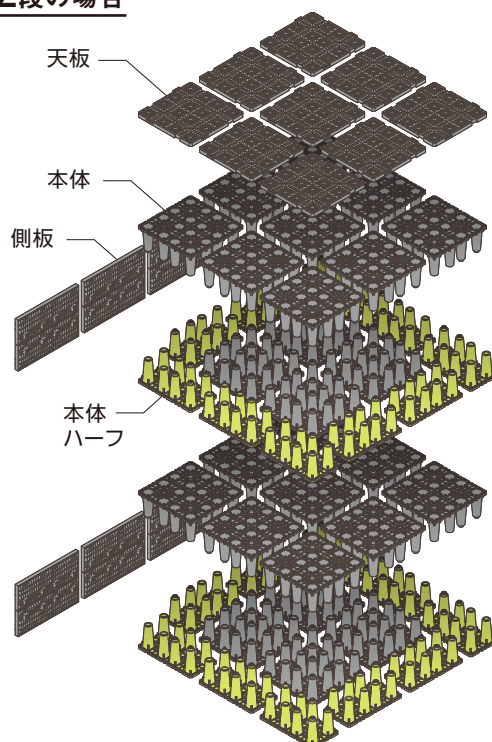
簡単に組み立てられ、接続部品も不要

レンガ状に簡単に組み立てられ、接続部品も不要。
優れた施工性でスピーディな施工を可能にします。

1.5段の場合



2段の場合



技術評価認定 申請中

設計・施工の信頼性を裏付ける、
雨水貯留浸透技術協会の技術
評価認定を申請中です。



▲鉛直方向試験



▲水平方向試験

ECO 再生材使用でエコ施工

再生プラスチックを使用し、環境負荷を抑えつつ、公共事業や対応案件にも適した仕様です。

施工手順

シンプルな手順でスピーディな施工

現場でわかりやすい手順と、組み立てやすさを両立し、工期短縮と品質の安定化に貢献します。

→ 貯留槽の場合 → 浸透槽の場合

元請様の担当範囲



1 掘削



2 基礎砕石



3 基礎コンクリート ※浸透の場合は砂

センクシアの担当範囲



4 外面透水シート敷設



5 遮水シート敷設



6 内面透水シート敷設



7 アクアキャッチSS搬入



8 間配り



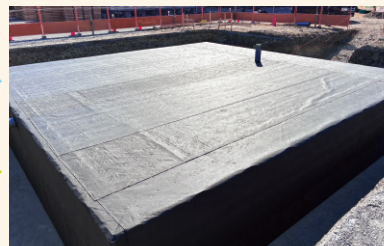
9 アクアキャッチSS部材組立



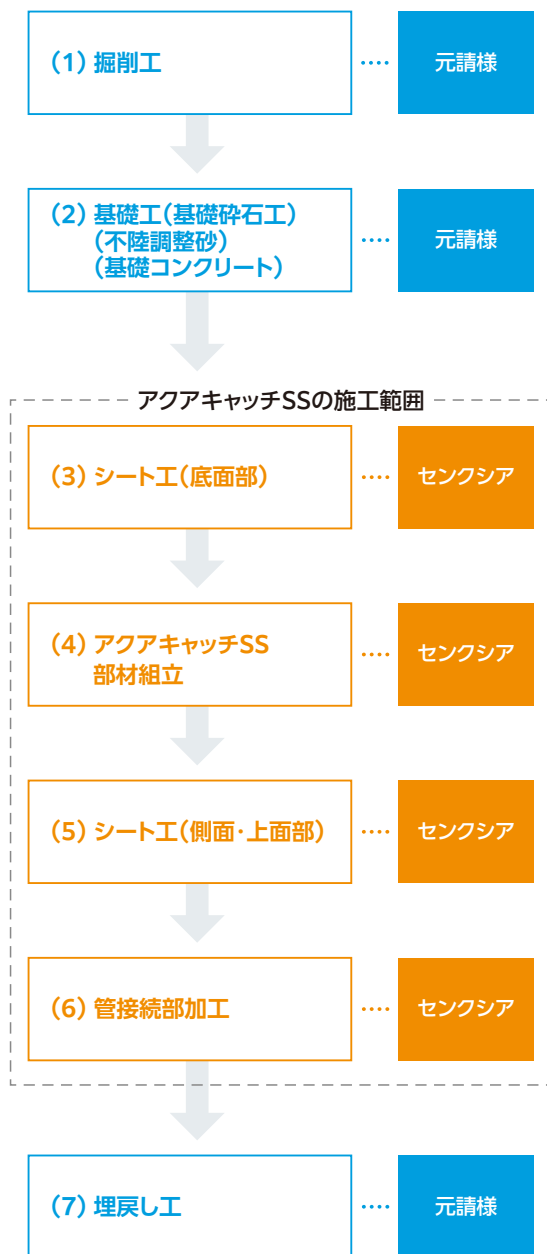
10 管口取付



11 側面、上面透水シート敷設



12 完成



⚠ 施工上の注意事項

(1) 掘削工

- 雨水貯留部材の組立て作業性を考慮し、雨水貯留槽幅より作業幅500mm以上を加え掘削を行ってください。
- 施工中、掘削内に水が浸入する恐れがある場合は、水中ポンプで排出してください。

(2) 基礎工(基礎碎石)(不陸調整砂)(基礎コンクリート)

- 基礎面の不陸は平滑に仕上げてください(1mピッチで±の合計15mm以内が目安)
- 掘削面にたまり水や湧水がある場合は、適切な処置を行い、掘削面を良好な状態に保つようになしてください。

(3)(5) シート工

- 底面部のシート敷設前には、基礎面に鉄筋や石片等の突起部がないことを確認した上で敷き広げてください。

(4) アクアキャッチSS部材組立

- 製品組立は一方向から片押しで行ってください。
- 組立て作業中は、貯留槽上部からの墜落や、部材を運搬する際の視界不良等の恐れがあるため、歩行には十分注意してください。

(6) 管接続部加工

- 塩ビ管はご支給願います。

(7) 埋戻し工

- 貯留槽設置後に降雨などがある場合は貯留槽が浮き上がる可能性があるため、速やかに埋戻しを行ってください。
- 埋戻しは貯留槽上部に埋戻し土を仮置きして貯留槽を固定したうえで、偏荷重とならないように四辺均等に行ってください。
- 埋戻し時に車両を貯留槽上部に乗り入れる場合は、最低土被り300mm以上を確保し十分な転圧をしたうえで乗り入れてください。

⚠ 警告

- 火気や有機溶剤は使用しないでください。製品の変形・破損や火災の原因となるおそれがあります。
- 放り投げるなどの強い衝撃を与えないでください。製品破損の原因となるおそれがあります。
- 破損した製品は使用しないでください。性能低下や事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 製品は直射日光を避けて保管してください。
- 貯留槽の破損や変形が起きないように、慎重に作業を行ってください。
- 降雨の際はポンプなどで浮上防止を行ってください。



センクシア株式会社

お問い合わせ、詳細な資料のご請求は下記の営業担当者までご用命ください。

- 東京支店** 〒105-8319 東京都港区東新橋二丁目3番17号(モメント汐留)
TEL.(03)4214-1932 FAX.(03)3438-1062
- 札幌支店** 〒001-0018 北海道札幌市北区北十八条西五丁目1番12号(3F)
TEL.(011)708-1177 FAX.(011)708-1178
- 東北支店** 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目8番13号(大和証券仙台ビル7F)
TEL.(022)213-5595 FAX.(022)213-5590
- 関東支店** 〒370-0841 群馬県高崎市栄町16番11号(高崎イースタワー9F)
TEL.(027)322-9411 FAX.(027)322-9343
- 中部支店** 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目17番29号(広小路ESビル5F)
TEL.(052)582-3356 FAX.(052)583-9858
- 北陸支店** 〒920-0024 石川県金沢市西念一丁目1番3号(コンフィデンス金沢8F)
TEL.(076)233-5260 FAX.(076)233-5262
- 関西支店** 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原三丁目4番30号(ニッセイ新大阪ビル15F)
TEL.(06)6395-2133 FAX.(06)6395-2102
- 中四国支店** 〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町一丁目1番20号(いよぎん広島ビル4F)
TEL.(082)240-1630 FAX.(082)240-1606
- 九州支店** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目26番29号(九勤博多ビル8階)
TEL.(092)452-0341 FAX.(092)452-0350

URL <https://www.senqcia.co.jp/>
E-Mail kenzai@senqcia.com